

# 第15回関東学生研究論文講演会 報告

【報告者】 児玉 周太郎（電気通信大学 情報理工学研究科）

【日程】 2021年3月9日（火）

【参加人数】 60名（学生40名、一般15名）

【開催場所】 Zoomによるオンライン開催

【講演】 オーラル：9件 ポスター：18件

【報告】

第15回関東学生研究論文講演会が2021年3月9日にオンラインにて開催された。オーラルセッションでは9件、ポスターセッションでは18件、計27件の発表が行われた。参加者数は、学生40名（うち講演者18名、聴講者22名）、一般15名の、合計55名であり、慶應義塾大学、東京工業大学、東京都立大学、群馬大学、電気通信大学、千葉大学、埼玉大学、静岡大学、宇都宮大学、科学警察研究所からの参加があった。質疑に関して、序盤に学生が積極的に質問するように促す場面があったが、その後は学生を中心に活発な議論がなされた。今回はオンライン開催だったので、例年行われていた講演会終了後の懇親会は行わなかった。

優秀講演賞は、審査規定に基づいて参加教員による投票を実施し、以下の3名に贈呈した。

オーラル発表（1件）

- 高橋京司さん（東京工業大学）「HOEを用いた正面撮像システムにおける高画質化手法」

ポスター発表（2件）

- 福原淳志さん（静岡大学）「電子線直接励起蛍光顕微鏡の高分解能化」
- 竹鼻将生さん（千葉大学）「機械学習を用いたシングルピクセルイメージングによるエッジ検出」

次回は静岡大学にて開催の予定である。

本講演会を無事開催、終了できたことに関して、ご発表いただいた講演者の皆様や活発にご議論いただいた質問者の皆様をはじめ、ご参加いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。また、講演会の準備、進行に関してご協力をいただいた情報フォトンクス研究グループの幹事の先生方、各研究室連絡担当の学生の皆様、渡邊先生および渡邊研究室学生各位に御礼申し上げます。